

障害年金についての相談

対象者：甲野 花子（コウノ ハナコ）

住所：沖縄県〇〇市〇〇町 1-2-3

生年月日：昭和 42 年 8 月 24 日 49 歳

性別：女

職業：無職

基礎年金番号：8〇〇〇-654321

配偶者：なし

相談内容

平成 15 年 4 月 2 日を初診日とする、精神障害を理由とする障害基礎年金の請求について

（納付要件を確認の上で、事後重症請求を検討。1 年 6 か月時点では通院をしていない可能性が高い）

傷病名：統合失調症（医師の診断による）

初診日は、家族の申告であるが、薬を処方された際の説明書きを保存しており、その日付で確認した。また、初診の病院は〇〇市であるが、現在も存在しているので、受診状況等証明書の取得は可能と思われる。

疾患及び通院の状況

傷病の発生年月日 平成 15 年 1 月ごろ（本人の申告による）

大学卒業後事務職として 5 年間勤務。同じ会社で知り合った当時の夫と 28 歳のとき婚姻した。33 歳のとき長女出産。平成 15 年の 36 歳のとき長男を出産。長男を妊娠中に当時の夫より暴力を受けたあとに、心身不調となり、帝王切開にて早産となった。その後夫と離婚し実家に帰省したが、平成 15 年 3 月に気分高揚、言動のまとまりを欠く状態となる。見かねた家族が近くの精神科クリニックへ連れていった。

初めて医師の診察を受けた日 平成 15 年 4 月 2 日 〇〇病院精神科（〇〇市〇〇）

初診後は月 2 回程度通院を続けたが、平成 20 年 7 月に再び精神興奮状態となり同年 9 月 29 日からは〇〇市の〇〇病院に入院となり同年 12 月 18 日の退院まで過ごす。

退院後は〇〇市の〇〇病院にて、月 2 回通院し現在に至る。

平成 26 年 8 月、精神障害者保健福祉手帳を取得済。障害等級 3 級。

コメント [o1]: この事例は、当職が実際にお客さまからお聞きした概要を入力して、相談の際、窓口相談員に提示しているものです。ご自身または家族の方が請求される際、真似をして頂くことをお勧めします。

コメント [o2]: お客さまの氏名と読み仮名を書きます

コメント [o3]: 基礎年金番号か、ねんきん定期便に記載してある照会番号を記載します。代理人が本人に代わって相談窓口に出向く場合は、委任状に基礎年金番号が記載していないと、相談に応じてもらえません。

コメント [o4]: 配偶者が居る場合は、その名前と生年月日、基礎年金番号の情報があると、相談員が助かります。

コメント [o5]: 相談内容は、障害年金の請求になります。

コメント [o6]: 現在の傷病名がわかる場合は書きましょう。

コメント [o7]: 受診状況等証明書の取得が困難と想定される場合、その旨メモに記載して相談員の指示を仰ぎましょう。

コメント [o8]: 傷病名、その傷病の発病した時期、初診日、初診の病院名、2 番目以降の病院名、身体の状態等を時系列で簡潔に記載すると良いでしょう。

コメント [o9]: 自分自身で判断できる範囲で、初診日と初診日の病院名を思い出して書きましょう。

コメント [o10]: 現在通院されている病院名と、通院頻度を記載すると良いでしょう。

コメント [o11]: 身体障害者手帳等を取得されている場合は、傷病名と等級、認定日を記載しましょう。